

感染症情報 2月6日～12日

府下小児科194医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1,262例	(堺市 110例)
②溶連菌感染症	89例	(堺市 3例)
③突発性発疹	37例	(堺市 2例)
④RSウイルス感染症	29例	(堺市 2例)
⑤咽頭結膜熱	23例	(堺市 1例)

府下小児科298医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 8,381例(堺市 883例)

報告数での順位である。前週比3.1%減の1,489件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比5%減、堺市で前週116例→今回110例であった。溶連菌感染症が府下で25%増、堺市で前週2例→今回3例であった。RSウイルス感染症が府下で前回と増減なし、堺市は前週1例→今回2例であった。咽頭結膜熱が府下では12%減、堺市で前回3例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週から6%減。堺市で前週から14%減であった。定点あたり大阪府が29.91→28.12、堺市が前週36.75→今回31.54であった。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告数	1/23～1/29	+27,524例 、累計2,762,821例に、
	1/30～2/5	+19,779例 、累計2,782,600例に、
	2/6～2/12	+13,592例 、累計2,796,192例になっていた。
陽性率	1/25～1/31	152,955検査中、 20,326件 陽性、陽性率 13.3%、
	2/1～2/7	144,032検査中、 14,851件 陽性、陽性率 10.3%、
	2/8～2/14	141,285検査中、 10,370件 陽性、陽性率 7.3%

(12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる)に変更した)

【堺市の推移】(9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している)

陽性者数	1/23～1/29	+2,439例 、累計は224,183例であった。
	1/30～2/5	+1,779例 、累計は225,962例であった。
	2/6～2/12	+1,332例 、累計は227,294例であった。
陽性率	1/26～2/1	13,328検査中、 2,064件 陽性、陽性率15.5%、
	2/2～2/8	13,078検査中、 1,650件 陽性、陽性率12.6%、
	2/9～2/15	11,924検査中、 1,080件 陽性、陽性率 9.1%

麻疹や風疹の報告はなかった。